

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 東淀川区
学校名 大阪市立大桐中学校
学校長名 南 義徳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・大桐中学校では、第3学年 175名中164名で実施

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率をみると、次の通りであった。

	本校正答率	全国比	大阪市比
【国語A】	74%	-3.4ポイント	0ポイント
【数学A】	63%	-1.6ポイント	+1ポイント
また、無解答率をみると、次の通りであった。			
【国語A】	3.1%	+0.7ポイント	+0.2ポイント
【数学A】	6.7%	+0.4ポイント	-0.8ポイント

	本校正答率	全国比	大阪市比
【国語B】	71%	-1.2ポイント	+3.0ポイント
【数学B】	45%	-3.1ポイント	0ポイント
本校無解答率			
【国語B】	4.6%	+0.8ポイント	-0.5ポイント
【数学B】	11.6%	-0.1ポイント	-2.9ポイント

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

正答率で全国平均に及ばなかったが、国語Aは大阪市平均で、国語Bは大阪市平均を上回った。チームティーチングや習熟度別少人数授業や入学時から取り組んでいる朝の読書などの成果と考えられる。「読書は好きですか」という質問において、肯定的に答える割合も大阪市平均を8.5ポイントも上回った。

〔数学〕

正答率で全国平均に及ばなかったが、数学Aは大阪市平均を若干上回り、数学Bは大阪市平均並みであった。学校力UPコラボレーターによるチームティーチングや放課後学習会などの成果と考えられる。「数学の問題の解き方が分からぬときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」という質問において、肯定的に答える割合は、大阪市平均を5.8ポイント上回った。

質問紙調査より

「平日のスマホやインターネットの1日当たりの利用時間」の質問で3時間以上と回答した生徒が全国比+5.1ポイント、大阪市比-2.7ポイントであった。昨年度(全国比+17.5. ポイント、大阪市比+10.3ポイント)と比較し大幅に減少している。また、それに関連して「平日の1日当たりの勉強時間」の質問で1時間より少ないと回答した生徒は、昨年度と比較して、5.4ポイント低く、改善が見られる。また「学校の規則は守っていますか」の質問で肯定的に答える割合は94.5%で、目標の90%以上を上回ることができた。

一方、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問で肯定的に答える割合は78.6%で、昨年度と比較し5ポイント低くなっている、目標の85%以上を下回った。

今後の取組

今年度の調査では、国語・数学とも全国平均に及ばなかったが、大阪市平均を上回ることができた。昨年度よりICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業が徐々に増えており、今年度は「主体的・対話的で深い学び」や「ICT」をテーマに職員研修も行った。環境面では6月に全普通教室のプロジェクター設置、10月には校内LAN工事を完了した。このネットワーク環境の整備を今後、基礎学力の定着へと繋げていきたい。また、今年度より学校力UPコラボレーターおよび学びサポーターを配置し、授業支援や放課後学習会などを行い、学力向上に努めた。今後さらに家庭学習の習慣化を図っていくため、朝食や睡眠時間、スマホの利用の仕方など、正しい基本的な生活習慣の確立を、学校・保護者・地域が一体となって取り組んでいきたい。

【 全体の概要 】

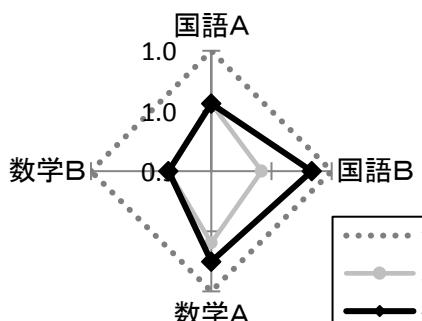
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	74	71	63	45
大阪市	74	68	62	45
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

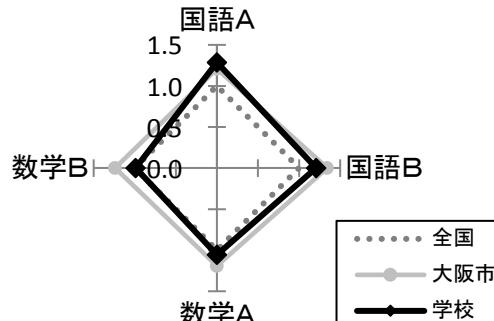
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	3.1	4.6	6.7	11.6
大阪市	2.9	5.1	7.5	14.5
全国	2.4	3.8	6.3	11.7

平均正答率(対全国比)



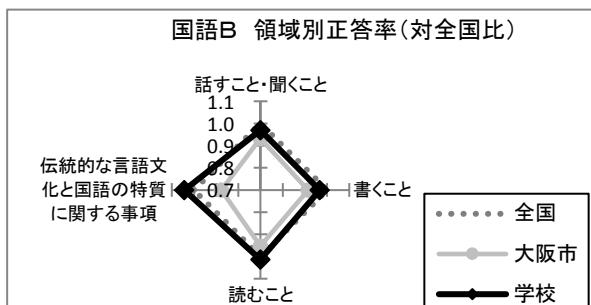
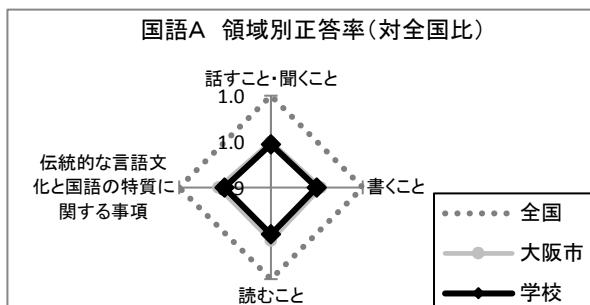
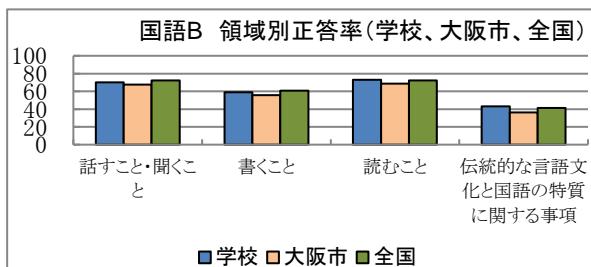
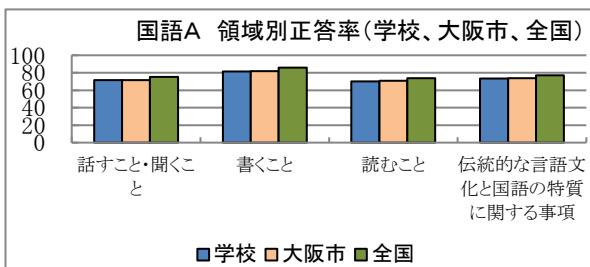
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	71.4	71.6
	書くこと	4	81.4	81.8
	読むこと	6	70.2	70.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	73.4	73.9

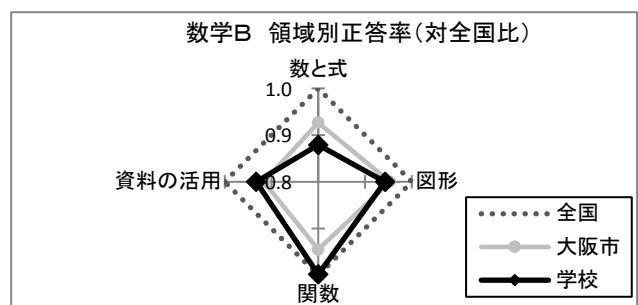
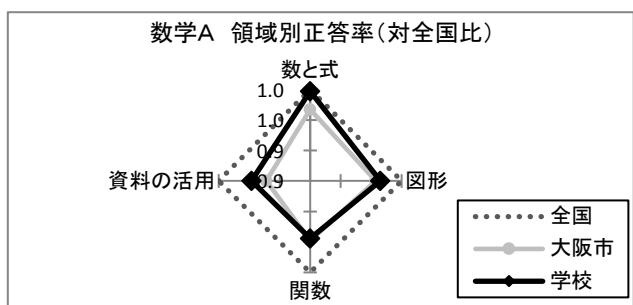
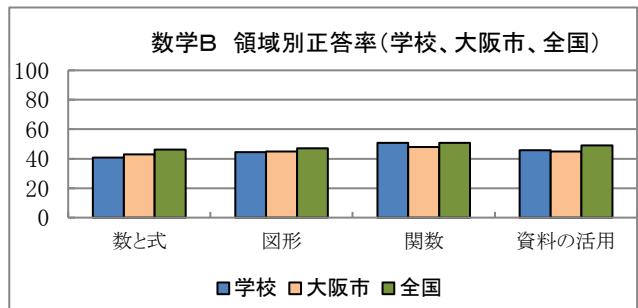
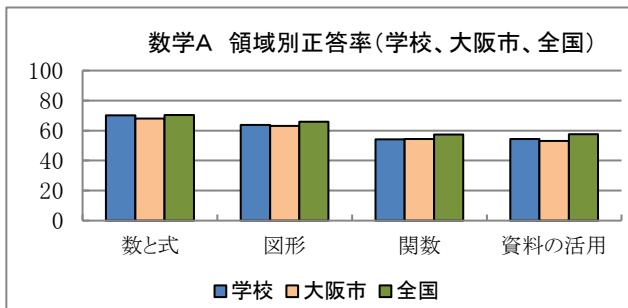
B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	70.2	67.5
	書くこと	4	58.8	55.6
	読むこと	4	73.1	68.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	43.2	36.3



【 数 学 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	70.2	68.1
	図形	12	63.7	63.2
	関数	8	54.2	54.4
	資料の活用	4	54.5	53.1

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	3	40.7	42.9
	図形	6	44.4	44.9
	関数	3	50.7	48.0
	資料の活用	3	45.8	45.0



生徒質問紙より

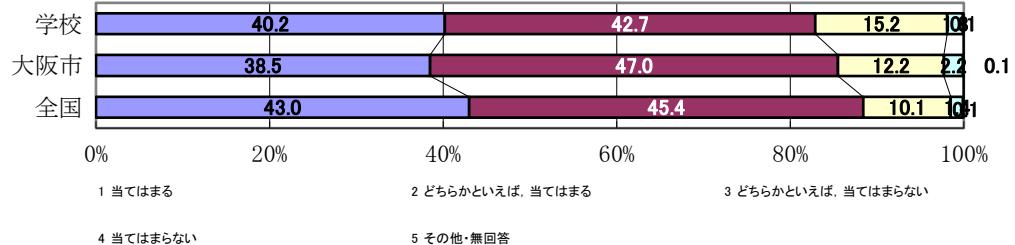
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

質問番号

質問事項

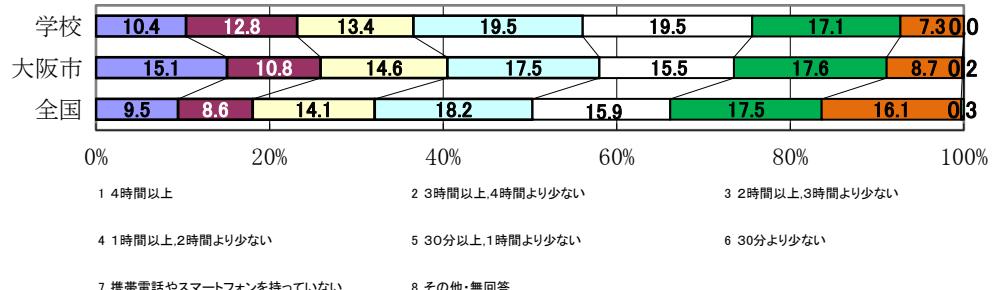
9

友達と話しあうとき、友達の考え方を受け止めて、自分の考え方を持つことができますか



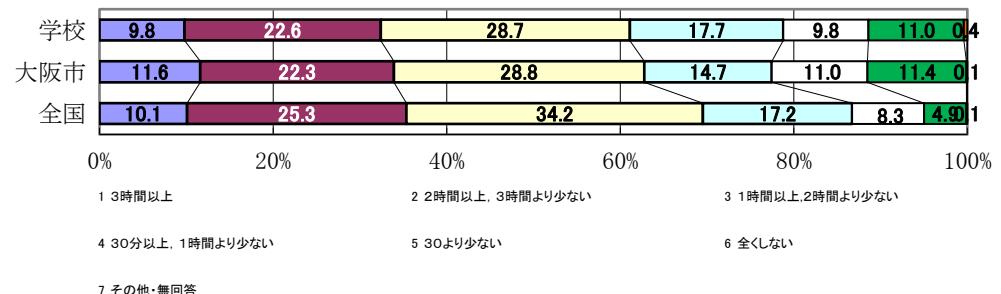
14

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



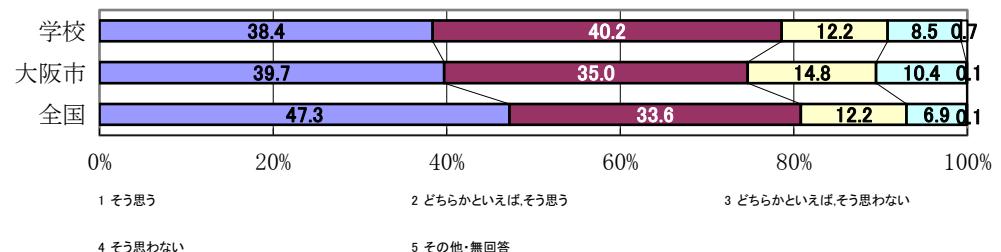
15

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



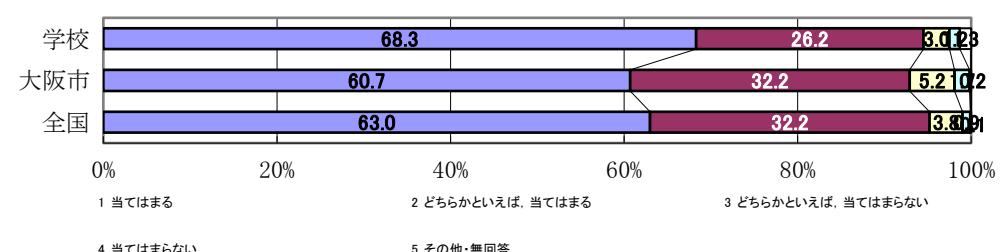
35

学校に行くのは楽しいと思いますか



51

学校の規則を守っていますか



学校質問紙より

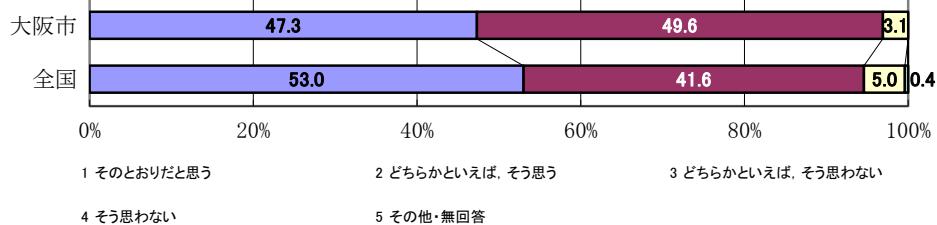
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

13

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

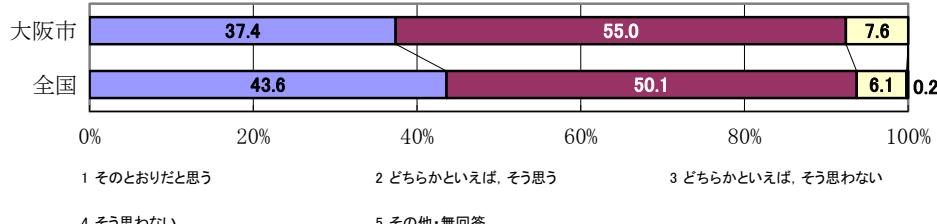
学校 「そのとおりだと思う」を選択



14

調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

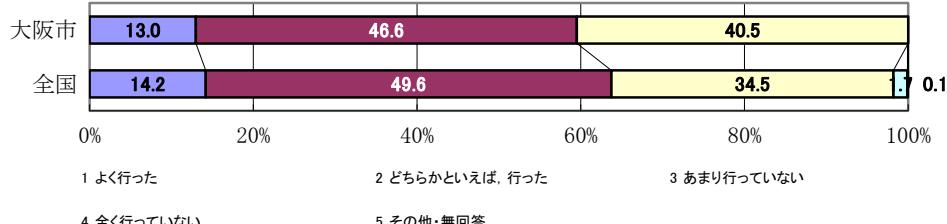
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



52

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか

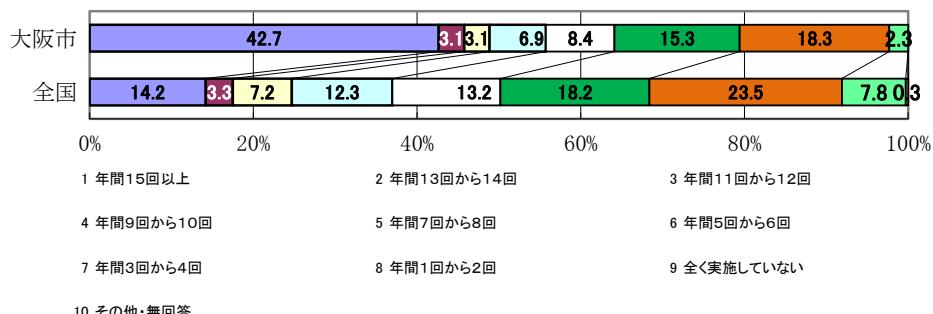
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



102

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

学校 「年間3回から4回」を選択



107

学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

